

3. 評価の仕方

(1) まずは目標の設定

サービス・ラーニングの目的は、一言で言えば「Active Citizen」の育成にあります。ではシチズンシップとは何なのでしょう？

シチズンシップの全体像を把握するのは難しいですが、文部科学省が提案している「学士力」や、経済産業省が提案した「社会人基礎力」などが示すフレームが参考になります。

これらを参照しつつ、「態度（価値観と言ってもいいでしょう）」「知識」「スキル」の3つのカテゴリーで、学習目標を立てます。

【学士力】

<知識>

- ・異文化の理解（外国などの文化を理解する）
- ・社会情勢や自然、文化への理解（人類の文化や社会情勢などを理解する）

<技能>

- ・コミュニケーション能力（日本語、特定の外国語で読み、書き、聞き、話すことができる）
- ・情報活用力（インターネットなどの多様な情報を適切に使い、活用できる）
- ・論理的思考力（情報や知識を分析、表現できる）

<態度>

- ・チームワーク、リーダーシップ（他者と協力して行動したり、目標実現のために方向性を示せる）
- ・倫理観（自分の良心や社会のルールに従って、行動できる）
- ・生涯学習力（卒業後も自ら学習できる）

<創造的思考力>

（知識、技能、態度を総合的に活用し、問題を解決することができる）

【社会人基礎力】

前に踏み出す力（アクション）

- ・主体性（物事に進んで取り組む力）
- ・働きかけ力（他人に働きかけ巻き込む力）
- ・実行力（目的を設定し確実に行動する力）

考え抜く力（シンキング）

- ・課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力）
- ・計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力）
- ・創造力（新しい価値を生み出す力）

チームで働く力（チームワーク）

- ・発信力（自分の意見をわかりやすく伝える力）
- ・傾聴力（相手の意見を丁寧に聴く力）
- ・柔軟性（意見の違いや立場の違いを理解する力）
- ・状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力）
- ・規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
- ・ストレスコントロール力（ストレスの発生源に対応する力）

(2) 多様な評価軸の組み合わせ

知識だけならテストで評価することが比較的容易ですが、スキルや態度といったものを単一のモノサシで評価することは簡単ではありません。

そのため、活動日誌（ジャーナル）やレポート、活動発表会でのプレゼンテーション、Service Agency からのコメントなど、様々な視点で評価することが必要です。ポートフォリオ（※1）やルーブリック（※2）などを活用するのも有効です。

※1 ポートフォリオ

ポートフォリオ (portfolio) とは、もともと、持ち運びのできる<ポータブル (portable) な>二つ折りにした紙や本<フォリオ (folio) >、つまり、紙ばさみや折りかばん、書類入れやファイルなどを意味しました。

ポートフォリオは、自分自身が活動や学習の過程や成果に関する資料と情報を、目的を持って長期間収集します。

※2 ルーブリック

学習到達状況を評価するための、評価基準表。

	S	A	B	C
評価項目 1	具体的な評価基準	具体的な評価基準	具体的な評価基準	具体的な評価基準
評価項目 2	具体的な評価基準	具体的な評価基準	具体的な評価基準	具体的な評価基準

S 期待する以上に、何かプラス α が見られる

A 期待する成果が十分見られる

B 期待する成果は見られるが、未到達な部分もある

C 期待する成果が見られない

それぞれが何かを明確にする

※4 段階ではなく 3 段階で評価する場合があります。

(ルーブリックの例) 市民的な責任 (Civic Responsibility) の評価

評価項目	1 (初歩的)	2 (できる)	3 (優れている)
コミュニティへの参加	コミュニティに滅多に参加せず、文化的要素とコミュニティの関係を認識していない。コミュニティの問題を平和的に解決するのを助けもしていない。	持続的価値のあるコミュニティ活動に時々参加している。文化的要素の挺入れを始めている。コミュニティ問題の平和的解決を検討している。	持続的価値のあるコミュニティ活動に一貫して参加している。他の人たちに文化的要素を認識するよう促し、コミュニティとの活動的関係を形成している。仲間が問題や相違を解決するのを助けている。
対人関係スキル	これまでに多様なコミュニティの課題の認識を示したことがほとんどなく、コミュニティのメンバーにアイデアや自分の態度を示したこともほとんどない。	政治的問題により関与するようになっていく。多様なコミュニティメンバーを識別している。行動計画の効用をわかり始めている。	多様なコミュニティの課題に関する政治的知識を完璧に高めている。コミュニケーションスキルを高めアイデアや理念を表明している。コミュニティに対する自分の意識を高め、人たちに礼儀正しい。行動計画を作成し、よく練られた集団活動の効果を体験している。
モデル的市民性	政治的・公民的課題にあまり取り組まない。コミュニティ課題と全社会的ニーズとの間をつなげていない。政治的課題に参加しようとする意欲がない。	政治的・市民的課題にしばしば取り組んでいる。コミュニティ課題と全社会的ニーズとの間を簡単につなげている。恵まれない人に対する同情を示している。政治的課題に対する貢献をしようとしている。	一貫して政治的・公民的課題に取り組んでいる。コミュニティ課題と全社会的ニーズとの間をつなげている。恵まれない人たちに対応している。コミュニティメンバーを支援するために政治的課題や政治的行動に参加しようとしている。
システム分析	組織がその成員に対して直接・間接の影響をいかに与えるかを認識することが余りない。	組織のその成員に対する直接・間接の影響に関する認識をしばしば示しているが、いかに成員が疎外されるかを理解していない。	組織が個人に対する直接・間接の影響があるという認識を常に示している。